

都市再生整備計画 事後評価シート
滝尾中部地区

平成24年3月

大分県大分市

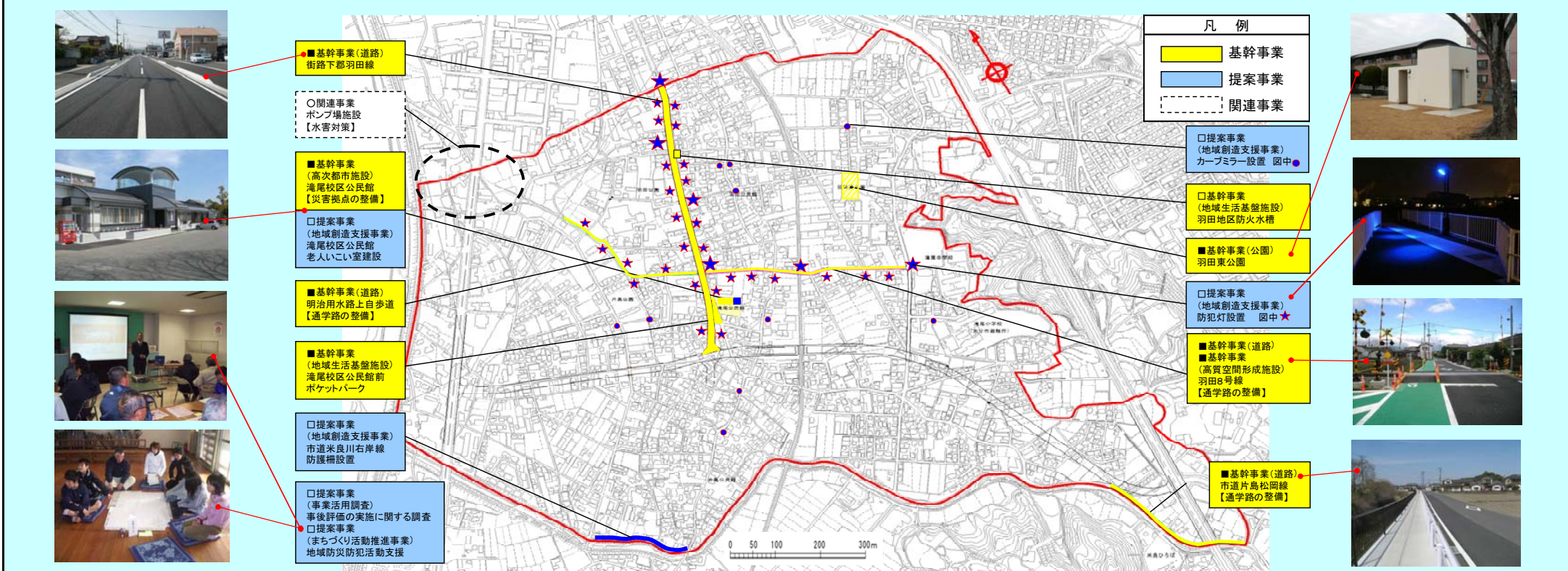
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県		市町村名	大分市		地区名	滝尾中部地区			面積	140ha			
交付期間	平成19年度～23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	2,020	国費率	0.401					
1)事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(街路下郡羽田線、市道片島松岡線、明治用水路上自歩道、市道羽田8号線)、公園(羽田東公園)、地域生活基盤施設(滝尾校区公民館前ポケットパーク)、高質空間形成施設(市道羽田8号線)、高次都市施設(滝尾校区公民館)											
		提案事業	地域創造支援事業(防犯灯設置、カーブミラー設置、防護柵設置、老人いこい室建設)、事業活用調査(事後評価の実施に関する調査)、まちづくり活動推進事業(地域防災防犯活動支援)											
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		基幹事業	道路(街路片島松岡線)			事業予定地内の農業用水路の付替えについて水路管理者の合意が得られず、交付期間内での完了が困難な状況であるため			「自動車交通についての不満度」に影響するが、指標及び数値目標は据え置く					
		提案事業	地域生活基盤施設(羽田地区防火水槽)			H20年度二次補正に伴い、提案事業から基幹事業に変更するため			影響なし					
提案事業		地域生活基盤施設(羽田地区防火水槽)			H20年度二次補正に伴い、提案事業から基幹事業に変更するため			影響なし						
新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(羽田地区防火水槽)			H20年度二次補正に伴い、提案事業から基幹事業に変更するため			影響なし						
	提案事業	なし			-			-						
交付期間の変更	当初	平成19年度～23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-							
	変更	なし												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	地域防災力・防犯力向上についての満足度	%	23	H17	40	H23	モニタリング	評価値	52	○	あり なし	幹線道路、生活道路、公民館、防火水槽及び防犯灯等のハード整備と、地域防災防犯活動支援のソフト施策により、総合的に地域防災力防犯力が向上し、住民の満足度が上昇した。	-
	指標2	防災防犯活動への参加者の割合	%	5	H17	10	H23	-	16	○	あり なし	防犯安全マップの作成、防災講演会及び防災防犯イベントの開催等により、住民の地域防災防犯に対する意識向上と参加機会が創出され、参加者が増加した。	平成24年4月頃	
	指標3	自動車交通についての不満度	%	83	H17	70	H23	-	50	○	あり なし	幹線道路と生活道路の歩行者空間の整備、カーブミラーの設置等により、自動車の通行が円滑になり、歩車分離で安全性が向上し、住民の不満度が低下した。	-	
	指標4	公民館の年間利用者数	人	20,000	H17	24,000	H23	-	25,700	○	あり なし	公民館の建替え、ポケットパーク整備、公民館への歩行者空間整備により、地域コミュニティ及び防災拠点としての機能と利便性が向上し、利用者数が増加した。	平成24年4月頃	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	なし												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 公民館や公園とその周辺の道路整備等の整備効果により、住民の「公民館や公園の利便性について」(アンケート調査結果)建替えによる設備の更新、公園のトイレ改修により満足度が上昇している。 道路整備に伴う排水施設の整備や災害対策ポンプの設置の整備効果により、住民の「地域内の水路、排水施設について」(アンケート調査結果)の満足度が上昇している。 													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 防災安全マップの作成 防災ワークショップの開催 防災イベントの開催 				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	地域防災力防犯力の向上と維持のために、継続して地域防災防犯活動を促進する。		
	持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 住環境整備を促進していくための地域住民の代表組織 				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	第2期の都市再生整備計画事業の整備促進のための協議や定期的な事業の進捗状況の報告、まちづくりニュースの発行等を、今後も市と意見交換しながら地区のまちづくりを協働で進めていく。		

様式2-2 地区の概要

滝尾中部地区(大分県大分市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標：防災、防犯のまちづくりによる、安全、安心で快適な住環境の形成	地域防災力・防犯力向上についての満足度	単位：％ 23 H17	40 H23	52 H23
目標1 通学路や排水施設などの都市施設の整備と地域防災力、防犯力の強化により、災害、犯罪に強い市街地を形成する（防災、防犯）	防災防犯活動への参加者の割合	単位：％ 5 H17	10 H23	16 H23
目標2 幹線道路の整備と既存道路の機能改善により、円滑な交通体系の形成と交通安全性、歩行者の快適性の向上を図る（交通体系の整備）	自動車交通についての不満度	単位：％ 83 H17	70 H23	50 H23
目標3 公民館やポケットパークなどの整備と公共施設の修景整備により、うるおいある快適な都市空間を形成する（住環境の整備）	公民館の年間利用者数	単位：人 20,000 H17	24,000 H23	25,700 H23



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地区のコミュニティ及び防災拠点となる公民館や公園、ポケットパークの整備によって、地区の居住環境と地域防災力が向上している。 ・都市計画道路や生活道路の整備区間では、歩行者空間が整備され歩行者の安全性が向上している。 ・道路整備によって一部では緊急車両の進入が容易になり、避難路となる歩行者空間が整備されたことから、防災面が強化している。 ・都市計画道路の整備によって、部分的に地区内の自動車の通行が円滑になり、自動車交通が改善している。 ・道路整備によって地区内道路を通行する自動車の速度が上昇しており、歩行者や自動車の交通安全面の課題が発生している。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災・防犯に関する組織の活動内容の充実(特化した災害に対する避難訓練等)や活発化によって、より多くの住民が防災・防犯活動に参加する環境を形成するとともに、防災・防犯に関する地域リーダーの育成や地域コミュニティの醸成によって、地域防災力・防犯力の向上を図る。 ・公園やポケットパークの愛護会等住民ボランティアによる活動を支援して、施設の良好な維持管理と活用を図る。 ・未整備区間の都市計画道路の整備促進により、円滑にネットワークされた道路交通体系の形成を図る。 ・必要に応じて、交通安全看板の設置やカラー舗装やイメージジャンプの整備等の方策を検討して実施し、ドライバーのマナーアップや自動車の速度抑制を図る。